

岡部定一郎「福岡城寸描」(32)

黒田24騎小傳(5)

黒田 直之 (図書助)

生没年 : 永禄7年(1564)～慶長14年(1609)

位置付 : 親族一門(八虎の一人)

禄 高 : 1万2千石

黒田職隆の4男で、黒田官兵衛孝高(後の如水)の異母弟にあたり、姫路で生まれる。

幼名は惣吉、通称惣右衛門。母は母里氏、妻は由良家より娶る。

前号の黒田利則と同じく、豊臣秀吉や秀長に仕え、奈良地方の大和郡山に住んでいた。隣家には藤堂高虎が居た。兄官兵衛が九州平定の功勞によって豊前中津へ入封の折、共に中津へ行き、黒田家家臣として、4千500石を拝領し、天正・文禄・慶長の諸合戦で軍功を立てた。

その後、筑前福岡52万石の礎を作った功績により、1万2千石の秋月領を拝領する。

直之はクリスチャンであった。山深い秋月の里を信者の保護地としたが、徳川幕府の厳しい禁止令と当主直之の死もあって、主だった信者は、大阪や島原へと逃れていった。その後、直之の家系は、4代目より秋月藩の一門として由良姓を名乗り、千300石となって、明治に至っている。



家紋



一蛇目

黒田直之の博多人形(ふくおかフィナンシャルグループ1階に展示)